

学習指導略案

1. 教科 国語科

2. 学年 6年

3. 指導目標

読む人のために必要な要素と効果的な書き方を考え、ガイドブックを作って交流し、より豊かな表現力を育てる。

4. 単元名

相手や目的に合わせて書こう～「ガイドブックを作ろう」～

5. 単元目標

- 利用者を想定して、ガイドブックを作る。 (書くア)
- 目的に応じて、書く必要のある事柄を整理する。 (書くイ)
- 目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする。 (書くエ)
- 分かりやすい構成を考え、地図や写真、絵、文章などの配置や書き方を工夫する。 (書くオ)

6. 指導計画 (全 11 時間)

- ①学習材「ガイドブックを作ろう」を読み、書き方・まとめ方の工夫について考える。
- ②材料を集めて全体の構想を練る。
- ③絵や写真も取り入れ記述を工夫してガイドブックを作る。
- ④出来上がったガイドブックを互いに読みあい、感想を交換し合って校正をする。
- ⑤校正後、各グループのガイドブックをプレゼンする。
- ⑥プリントし、ガイドブックに仕上げる。

学習活動と内容	機器機材教具	指導上の留意点
①ガイドブックのテーマを決める。 ・ 学校のひみつ ・ 私の趣味 ・ 地域の遺跡 など		
②写真や関連資料収集をする。	デジカメ インターネット	情報モラルの学習。 効果的な写真の撮り方。

③全体のレイアウトを考える。 ④パソコンを使って入力する。	スタディノート	フォルダの作成 写真と文字の配置など。 効果的なフォントなど
⑥電子掲示板に出す。 ⑦互いに読みあって意見交流を行う。 ⑧意見を参考にして推敲を行い、再構成する。	スタディノート	交流したことを活かしてより工夫したものを作る。
⑨プレゼンテーションを行う。	プロジェクター	
⑩印刷して仕上げる。		

7. 活用するIT

デジタルカメラ・パソコン（スタディノート・パワーポイント）・プロジェクター

8. ITを活用する場面

◇材料（素材）収集

- ・デジタルカメラ・インターネット

◇ガイドブック作成

- ・スタディノート（ノートと掲示板を使用）

◇ガイドブックのプレゼンテーション

- ・パワーポイント、プロジェクター

9. ITを活用する目的、利点

- デジタルガイドブックは情報を加工しやすく、ノートや模造紙などでは表現しにくいものでも簡単に扱えるし、画像などを積極的に取り入れることができる。
- パソコンは何度も推敲し、書き直しが簡単にできる。
- ネットワーク機能を使うことで全体の作品を簡単に見ることができる。
- 再構成することでよりよい作品に作り変えることができる。
- プロジェクターでのプレゼンテーションを行うことを通して、必要な提示資料や伝えたいことをはっきりさせ、表現力の向上につながる。